



たいよう

第4号 令和7年6月30日(月)

- 【た】 たくましい子
- 【い】 生き生きと活動する子
- 【よ】 よく考える子
- 【う】 美しい心の子

縦割り活動のよさを実感したキッズパラダイス

校長 関根 努

早いもので1学期も残すところ約1か月になりました。先日のキッズパラダイスでは、大勢の保護者の皆様に参加していただき、ありがとうございました。春から少しずつ準備をしていましたが、リーダーを中心にグループで協力して活動していました。高学年の子供たちが下級生に気を配って、よくリードしている様子がたくさん見られました。みんな笑顔いっぱいのキッズパラダイスになって嬉しく思いました。



本校では、学級や学年、保護者やPTAの方、地域の方などの多様な人とのかかわりの中で、様々な体験をしています。その一つが縦割り活動です。

縦割り活動では、全校の子供を1年生から6年生までの子供がそれぞれ数人ずつ属する小グループに分け、そのグループで一緒に活動します。木曜日の朝のなかよしタイムの時間には、縦割りグループが決められた教室に集まって活動します。縦割りグループ担当の教師の指導のもと、活動計画を立てたり、一緒に遊んだりしながら異学年交流をしています。

上級生には、リーダー役の苦手な子もありますが、必ずリーダーになる仕組みです。下級生の面倒をみる中で困ることもあります。そのような経験を通して、多様な人とのかかわり方を学んでいきます。一方、下級生は、「大きくなったら、縦割りグループのリーダーになって・・・」と上級生の背中を見て、その動きを覚えていきます。

昔の子供たちは、学校が終わると、ランドセルを投げるように家に置いて、地域の年長の子供の所に集まり、日が暮れるまで遊んでいました。そこで遊びを覚え、仲間のルールを学んでいきました。異学年の子供が一緒になって遊ぶ、そんな社会性を育てる仕組みが今はなくなりつつあります。それに代わるものが、学校における縦割り活動であると考えています。

このような活動を通して、学校教育目標「太陽の子(心豊かな子)の育成」を目指していきますので、見守っていただければ幸いです。

